

平成27年12月31日

従業員各位

株式会社 徳  
ノリックス株式会社・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今年の年末は昨年と同様におせち料理と葬儀料理の製造に臨時アルバイトさんも 100 人近くお手伝いいただきながら全社スタッフ総動員で対応いたしました。今年は製造個数、売り上げともに前年を上回り、私どもの作る商品が、多くの方に喜んでいただいている事をありがたく思っております。本年も年の瀬を迎え、すべての店舗で自らの仕事に対して頑張りを見せていただきましたスタッフの皆様には心から感謝いたします。

さて、私どもの仕事というのはすべて分業で成り立っています。調理、配送、配膳、接遇、受付、事務、それらの管理など様々な部所の皆様の協力で成り立っています。言い換えれば専門知識の集合体ともいえます。昔から力のあるものは力仕事をし、手先の器用なものは道具を作り、料理の得意なものは料理を作る。自分の不得意を周りの方の得意で補ってもらう。本来、仕事とは「得意」と「得意」の交換であったと思います。そこには上下関係も、優劣も貴賤もありません。

ただし分業で最も大切なことは自分の与えられた得意な仕事をきっちりやり遂げること。これを「完遂」といいます。そうやって各自が完遂した仕事を紡いで形にすることで私どもの会社になりたっており、成長の原動力となっています。

私が普段から申し上げている「お客様を大切にしよう」というのはお客様に対して卑屈になったり、かしづいたりすることではありません。私たちは自分たちに与えられた仕事にしっかりと向き合い、仕事を完遂してお客様に喜んでもらう。お客様は私たちの仕事に感謝し、代金を支払う。本来はどちらが偉い訳でもなく対等な関係なのです。お客様は決して神様ではありません。相手を盲目的にあがめるのではなく、お客様の役に立つように、また一緒に働く仲間の役に立てるように精一杯努力する。それが「真面目に働く」と言うことだと私は思います。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来年も一緒に頑張りましょう

草々